

日造協

2017. 12 月
通巻 第 525 号

日造協 ニュース

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-15-2 本郷二村ビル 4 階 TEL:03-5684-0011 FAX: 03-5684-0012

- 2 面 【特集】" ツリーライダー " で高所作業の安全確保
「造園用胴ベルト型安全帯」の愛称決定 全国に利用者広がる
使用事例① 適切なポジション、掛け替えも楽
使用事例② 動きやすく安全性と機能性を両立
- 3 面 植栽基盤診断士認定試験を実施 合格者一覧 新たな診断士 67 名に
- 4 面 【ふるさと自慢】愛知県 岩間 紀久裕 (岩間造園株)
独特の食文化 多くのマイナーグルメ 意外と病み付きになる名古屋めし
【緑滴】新潟県支部 渡部 陽子 (グリーン産業株)
私のふるさと「石ころタウン」糸魚川



完成した技能五輪全国大会 造園競技の課題

第 55 回技能五輪全国大会が 11 月 24 日から 27 日まで栃木県で開催され、42 職種の競技が行われた。造園職種は、25、26 日に那須塩原市のにしなすの運動公園において、青森から沖縄まで 25 都道府県から 52 名が出場し、天候にも恵まれ大勢の観衆の見守る中、練習の成果を競い合った。

本大会は、23 歳以下の技術者を対象に、造園職種の競技時間は 10 時間で 10 時間 30 分を打ち切り時間とし、3.5 × 2.5 m の区画に施工図に示す庭園を見栄えよく作庭するもの。

課題は、野面積みによる石積み、土ぎめの小舗石、竹垣やベンチの製作、敷石、砂利敷き、高木及び中木・低木・草花・芝の植付けなどで、参加者は懸命に取り組んだ。

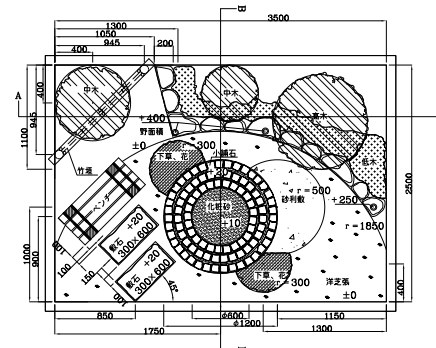
結果、金賞には西日本短期大学 (福岡)



高崎晏睦氏が、日造協会員では(有)信州緑地 (長野) の降幡好華氏が銀賞、金秀建設(株) (沖縄) の當間元士氏が敢闘賞を受賞した。

出場された技能者が、今後造園界で活躍することを期待したい。

(技術委員会 技能五輪部会 増田博一)



造園競技の平面図



完成した造園競技の課題

樹林

(一社) 日本造園建設業協会監事

(株) 植清園 代表取締役 北田 功



日造協躍進に向けて 埼玉県での取り組み

全国展開する日造協の更なる躍進に向けて、その縮図とも言える課題を抱える埼玉県の造園業を事例にして、以下述べさせていただきたい。

私は、日造協の監事とともに埼玉県支部としても様々な活動に取り組み、3 年前から埼玉県造園建設業協会の会長を務めております。

こうした取り組みの中で、各界各層の皆様からいただいている様々なご支援・ご協力に感謝するとともに、地域の皆さんの緑豊かで、快適な環境づくりに貢献することが、造園業の社会的使命の一つであると考えております。

しかし、私たち造園業を取り巻く経営環境は、依然として厳しく、会員の懸命な努力にも関わらず、心配や不安な要素が尽きない毎日です。

この厳しい状況に立ち向かうために、私はさらに明るく、元気な造園界、支部や県造協の運営を目指し、爽やかな風を吹かせたいと考えております。

私は、業界団体の主要な使命の一つに、会員の「経営支援」・「側面支援」があると考えております。

この視点から考えると、次のようなことがポイントになるのではないのでしょうか。

まず第 1 点目は、「会員の拡大と会員企業の充実を図る」ということです。

埼玉県の場合、県内の造園工事業への登録業者数は 467 社あり、県支部 32 社 7 %、県造協 119 社 25 % です。

造園建設業の要望を実現し、発言権を強めるためには、会員の数こそが、相当の影響を持ちます。そして、何より優先度が高い課題は、会員の受注機会の増大を図り、会員各社の仕事量の増加につなげるということです。

具体的には、個々の会員のみの対応が困難である行政への要望、特に緑化関連予算の増大、入札制度に係る改善

や、全国都市緑化フェアの本県における再度の開催、また各エリアごとに、県から指定管理者の指定を受けることへの挑戦など、積極的な取り組みを行い、会員の経営改善につなげることが団体の 1 つの役割だと考えています。

第 2 点目は、「人材育成を進めたい」ということです。各社の技術者育成は、喫緊の課題であります。

新規入職者を確保し、さらに社員の技術力・技能の力を高めることは、仕事を進める上で、待ったなしの課題となっております。

折しも、埼玉県では「県土づくりの担い手確保・育成支援事業」に取り組んでいます。こうしたチャンスを活かしながら、各社が資格取得の充実を図るとともに、団体として研修の機会を増やし、各社に役立つプログラムを提供することが大切だと思っています。

第 3 点目は、「個々企業の特徴がどういかにされるか」ということです。

支部や県造協の会員が生き残っていくためには、技術力の差、社員の質の差など、団体に所属するものとそうでないものの違いを生み出し、それを強化していく必要があります。

そして、会員間にあっても、積算能力や施工能力など、様々な創意工夫が求められることは、言うまでもなく、会員同士が切磋琢磨しながら、一層の能力の向上を図り、会員が多様で、多層であることによって、補完・連携していくことができると考えています。

日造協は、全国と地域の両輪を備えており、個々の県・地域の取り組みと、全国組織としての取り組みとの相乗効果が日造協の躍進に不可欠です。

そのため、私は地域の取り組みに力を尽くし、全国に繋げていきたいと思っています。皆様の更なるご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

議において行った。

当日は、日造協の藤巻司郎会長、(一社) 日本造園組合連合会荻原博行理事長、(一社) 日本公園施設業協会内田裕郎会長がともども出席した。

会議では、各団体から平成 30 年度公園・緑地に関する予算要望を行い、林副会長が以下の要望内容を具体的に説明した。

- 一、都市公園等関係予算の確保・拡大
 - 二、東日本大震災復興事業予算及び熊本地震復興関係予算の確保
 - 三、緑・花・庭を通じた国際交流関係予算の確保
 - 四、造園工事の適正な発注等
- また、11 月 15 日には、自由民主党

予算・税制等に関する政策懇談会において、平成 30 年度予算・税制に関する同様の要望を行った。

2018 新年造園人の集い

2018 年 1 月 5 日(金) 17:50 より

品川プリンスホテル アネックスタワー5階
「プリンスホール」
東京都港区高輪 4-10-30 ☎ 03-3440-1111

皆様お誘いあわせの上、
ぜひご参加ください

平成 30 年度 公園・緑地関係 3 団体の要望書を提出



要望を伝える藤巻会長

日造協は、平成 30 年度公園・緑地に関する予算要望について 12 月 5 日、自由民主党都市公園緑地対策特別委員会・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

特集 " ツリーライダー " で高所作業の安全確保 「造園用胴ベルト型安全帯」の愛称決定 全国に利用者広がる

技術委員会で商品開発を進めておりました「胴ベルト型安全帯」は、発売後好評で会員の皆様にご利用を頂いております。高所作業で多発する墜落事故防止のため、安全帯の正しい利用が大切です。造園家が造園家のために開発した「胴ベルト型安全帯」の使用で、事故ゼロを目指しましょう。この度、商品名が決まりました。現場に忘れず持参し、現場で正しく使って、可愛がって下さるようお願い致します。 技術委員会安全部会長 荻野淳司

ツリーライダーの愛称と造園の高所作業

「造園用胴ベルト型安全帯」の愛称募集をさせていただいたところ、全国各地の会員のみならずから 100 近くにもおよぶ大変多くのご応募をいただきありがとうございました。

ご応募いただいた全ての愛称を対象に厳正な選考審査を実施し、愛称候補を5点に絞り込みました。

その後、特許事務所を通じて、①指定商品：安全帯（安全ベルト、作業用指示ベルト等）、②指定商品の属する区分：第9類、③指定商品の類似群コード：09G01、09G49、09G05 について、すでに商標登録されているもの、類似とみなされる可能性のあるものを除外。

こうした経過を経て、愛称を「ツリー

ライダー」に決定し、商標登録出願の手続きを行いました。

ご応募いただきました皆様に改めてお礼申し上げますとともに、造園工事の安全確保に対する皆様の強い思いに重ねて感謝申し上げます。

造園工事は、いきものである植物や自然石といった不定形な自然素材を活用し、快適な空間を創出することが特徴であり、施工現場は屋外の多様な地形であることが一般的です。

なかでも高木剪定では、地表面が平坦でない場所や硬い舗装面上で行うことが多く、残念なことに毎年のように高所からの転落に起因し死亡や重症につながる



日造協のロゴが入ったタグの中に注意事項が収納されています



二丁掛けランヤードのラベル表示

重大な労働災害が発生しています。

高所作業をより安全・確実に実施し、労働災害を予防するためには、適切な昇降用設備、高所作業車による作業床の確保とともに、安全帯やヘルメットをはじめとする個人用保護具など安全装備の装着と使用の徹底が欠かせません。



「ツリーライダー」と二丁掛けランヤードとの接続例



「取扱説明書」より

使用事例① 適切なポジション、掛け替えも楽

高所作業車による剪定が困難な現場では、脚立で昇降し、枝上で止むを得ず作業を行わなければなりません。墜落防止のため安全帯を着用しますが、なかなか造園用の作業性にすぐれた安全帯がありませんでした。しかし、日造協が開発した『造園用胴ベルト型安全帯』が販売されることを知りさっそく購入し使用しました。

実際に使用すると、この安全帯は従来のものに比べて多くの点で快適に作業ができることがわかりました。

それは、移動中にランヤードフックが掛かっていない状態をなくするため、2丁のランヤードを使用して交互に掛け替えをしながら枝上を昇降する2丁掛けによる移動がしやすく、ランヤードフックが小型になっているので、フックの架け替えも楽にできます。

また、剪定作業中に体重を支えることができる太枝にフックを掛けるときにも、ベルトに3ヶ所設置されているD環が役立ちます。

このD環と長さが自由に調整できるU字吊り用のランヤードを使用すれば、適切なポジションでの作業が可能にな

り、U字吊り状態での剪定作業が可能となり、姿勢の確保がとりやすく作業に集中することができました。

(山梨県支部 株式会社グリーンテック)



2丁掛けランヤードを掛け替えながらの昇降と、U字吊りランヤードでの作業も可能。説明書に従ってご使用ください。

使用事例② 動きやすく安全性と機能性を両立

今年3月の販売と同時に造園用胴ベルト型安全帯を購入致しました。最近では安全への意識も高まり、高所作業車や安全帯の適切な使用が厳格化されています。

特に高所作業車の使用が増加する中、樹木に登り安全帯を使用する作業が減少していることも現実にはあるのですが、造園技術ではどうしても機械に頼れない場面が発生することも事実です。

登らざるを得ず職人を樹木に登らせる、自分自身が登るより恐怖を感じてヒヤヒヤしながら見上げて指示をします。

現在市販されているフルハーネス型は、造園の作業で使い勝手が悪く、縦横無尽に広がる枝を掻い潜るには重装備。安全と機能性を両立できる装備がないものかと考えている所に、造園用胴ベルト型安全帯の話を知りました。

職人は実際に使用し始め、感触を確かめると良い反応、通常の胴ベルト型安全帯よりもずっと安心感や安定感があり、動きやすさも好評で、今までよりも恐怖が軽減されるとのこと。

見ている側も以前の恐怖感はなく、安心して見ていられる。この安全帯をこれから多くの職人へ水平展開し、安心作業を進めていこうと思います。

(群馬県支部 株式会社山梅)



造園用胴ベルト型安全帯「ツリーライダー」お申込方法
下記URLから申込書をダウンロードして、必要事項をご記入の上お申込みください。
<http://www.jalc.or.jp/TreeRider/TreeRiderOrdersheet-2017.pdf>
日造協会会員の方は所属の支部へ御問合せください。

植栽基盤診断士認定試験を実施

「植栽基盤診断士」は、植栽予定地の現況調査と診断に基づき発注者等へ明確なデータを示しながら、改良の計画立案と具体的な処方を施工性・経済性を考慮して技術提案できる、植物が良好に育つ土壌環境を整える専門家であり、当協会が平成15年度に創設した資格制度である。

植栽版診断士補研修会を修了された方が、認定試験（学科試験・実技試験）に合格し、登録認定手続きすることにより「植栽基盤診断士」と称することができる。

今年度の認定試験は、「学科試験」を9月17日（日）に全国8会場で実施し、学科試験に合格した方が次に挑む「実技試験」を11月10日～11日に国営昭和記念公園、11月15日に京都府立植

物園で実施した。

試験 人数	学科試験		実技試験	
	受験者	合格者	受験者	合格者
	103名	73名	77名	67名
合格率	70.9%		87.0%	

物園で実施した。

各試験の可否については、「植栽基盤診断士認定委員会（委員長：近藤三雄 東京農業大学名誉教授）」で厳正に審査し、結果は次のとおりとなった。

合格者の累計は1,473名で、施工に携わる方はもちろん、樹木医や設計担当者、公園管理者、行政職員も取得されている。

特記仕様書に有資格者の調査・診断などの関与が明記されたり、入札時の参加要件や技術者評価に取り入れられるなど、さまざまな地域の発注において活用も広がり、活躍する場が広がっている。

合格者一覧 新たな診断士 67 名に

平成29年度植栽基盤診断士の合格者は次の通り。

【青森県】三浦哲・(有)三浦造園

【秋田県】本間廣喜、高橋啓子むつみ造園土木(株)、田村尚子・むつみ造園土木(株) 岩手営業所

【茨城県】遠藤義之・(株)水庭農園

【群馬県】澤口雅彦・(株)カネサ園

【埼玉県】加藤晃司・(株)アティ、高橋康弘・(株)小倉造園、大塚聡子・(株)矢口造園

【千葉県】渡邊達也・(株)トム造園

【東京都】詹鳳春・(株)Endo 緑化事業、綱島文彦、久保悌二郎、半田昭人(株)・石勝エクステリア、加来慎太郎・(株)岡野造園、杉本太志・(株)小田急ランドフローラ、佐藤博紀、前田忠義、長岡良彦・(株)昭和造園、伊藤慎・(株)西部緑化、依田寿宏・(株)武蔵野種苗園、近藤伸一・(株)ライズ、窪山泰一郎・イビデングリーントック(株) 東京支店、長澤美穂・加勢造園(株)、阿部航、岩崎日出海・かたばみ興業(株)、井上

敬子・西武造園(株)、西原義治・日産緑化(株)、中里匡行・日産緑化(株)多摩支店、倉橋政徳・箱根植木(株)、松村和人・松村園芸(株)、栗原千佳・綿半ソリューションズ(株)

【神奈川県】村岸健吾・(株)大和園

【山梨県】荒井浩樹・山梨ガーデン(株)

【石川県】河崎宏武・飛鳥緑地建設(株)

【愛知県】牧岳雄・(株)牧真造園、山尾浩史・(株)中嶋造園土木、榊原誠・(有)サカキ園芸場、榊原由人、羽根田健・大島造園土木(株)、市川年宏・大島造園土木(株)豊田支店、加藤順一・豊緑化技研(株)

【福井県】原田裕輝・カナイ造建(株)

【滋賀県】土田哲也・(有)アースリイ土質研究所、川窪康弘・(有)川窪造園

【京都府】北岡輝昭、小林亜純・(株)小林造園

【大阪府】井元慶一・(株)井元緑地建設、野口よしの・(株)庭樹園、柏原一凡・大阪府日本万国博覧会記念公園事務所、友永光隆・(株)マツオ、長尾哲秀・西武造園(株)



植栽基盤診断士認定試験の様子

西日本支店、久保木輝幸、長尾行晃・東光園緑化(株)関西支店、山中正宏・復建調査設計(株)大阪支社

【兵庫県】橋本直宏・入谷緑化土木(株)、熊谷優・阪神園芸(株)

【奈良県】向井進・花佐造園(株)

【山口県】打道幸太郎・(株)打道園芸、神

田美和・(株)繁農園

【福岡県】中村祐二・(株)小山千緑園、寺本政博・(株)中村緑地建設、松田敦・内山緑地建設(株)九州支店

【宮崎県】弥永俊広、甲斐祥郎・(株)弥永緑地建設、野崎裕文・(有)野崎造園土木

【沖縄県】赤嶺大佑・(有)みね造園

安全関連ニュース

「飛散小石 時速 130 キロ」

刈払機の使用時の事故にご注意ください。

除草作業に使用する刈払機は、使用方法を誤れば重大な事故に繋がることがある。今年7月20日に国民生活センターが報道発表を行い、近年の草刈り作業中の事故事例の報告や、刈払機の危険性の再現ビデオなどが放映された。消費者庁には2017年6月までの8年間で刈払機の作業中に指を切断、骨折したなど140件の事故情報が寄せられている。また、稼働中の刈刈に接触することで小石が飛散し、10m以上離れた自動車の窓ガラスや建物を破損・損傷させる事故に関しても注意を呼び掛けている。同センターが33.5ccの刈払機で刈刈別（4枚刃・8枚刃・チップソー・ナイロンコードカッター）の飛散テストを実施した結果、最大時速130キロで飛散した（4枚刃）。飛散した小石の威力は①4枚刃②8枚刃③ナイロンコードカッター④チップソーの順に高いデータが出ている。威力の順位に関係なく、すべての刈刈が高速回転での作業となるため、飛び石のリスクは常に伴うものと考え、現場により防護ネットや、飛散を抑制する製

品を積極的に活用し、事故を未然に防ぐ工夫が必要だ。

刈払機の回転数を安全領域まで減速

「スーパーカルマー」

アイデックが製造する「スーパーカルマー」は、逆回転ハサミ方式の刈払機アタッチメントだ。最大の特徴は、独自の減速駆動ギヤシステムで、刈払機の回転数を安全領域まで減速させ、安全性の高い草刈り作業が可能になることだ。作業中の石跳ねやキックバックを抑制し、際刈りや、人・車の多い場所でも安全な作業ができることから、造園業者、建設業者など幅広く使用されており、行政が公園や道路、公共施設での使用を推奨する地域が増加している。現場の安全作業は最優先事項であるだけに、「安全に直結する特徴」の「スーパーカルマー」は、現場作業のリスクマネジメントツールとして、事故の未然防止に大きな成果が期待できそうだ。

同製品は、国土交通省運用の「NETIS」過去登録、「日本建設機械施工大賞」を受賞している。海外の安全先進国ドイツやフランスでは、安全技術の革新性に着目し、政府が主導となり同製品を推奨している。

エンジン刈払機アタッチメント

スーパーカルマー PRO



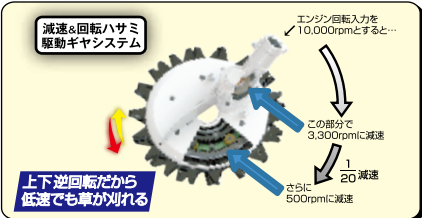
- 国土交通省NETIS過去登録製品
- 日本建設機械施工大賞受賞製品

飛び石事故 切創事故を未然に防ぐ



お手持ちの刈払機の回転数を

安全領域まで減速!



IDECH 株式会社 アイデック IDECH CORPORATION

〒675-2302 兵庫県加西市北条町栗田 182
TEL.(0790)42-6688 FAX.(0790)42-6633
E-mail:info@idech.co.jp

アイデック公式ホームページ

http://www.idech.co.jp



アイデック公式 Facebook

最新情報や動画をご覧ください



愛知県
ふると自慢

独特の食文化

意外と病み付きになる名古屋めし

私のふるさと名古屋には、マイナーなグルメがたくさんあります。B級グルメが多いですが、名古屋の料理には味噌を使ったり、香辛料などたっぷり使ったりと、名古屋独特の食文化があります。

味噌汁も関東や関西は白味噌や合わせ味噌が多いと思いますが、愛知県、岐阜県、三重県は赤味噌の文化が浸透しています。

味が濃いものが多いので、他県からみえた方は、合う、合わないはあるかもしれませんが、どれもはまると病み付きになる魅力があります。

メニューもバラエティーに富んで色々楽しめます。私の小学校の給食などでは名古屋名物の「ういろう」など出たものです。

以前、上場したコメダも名古屋が発祥の地になります。今は関東や関西にも進出して人気を集めている様ですが、最初は小さな喫茶店からスタートした様です。

名古屋は喫茶店の文化も良く根付いていて、愛知県の郊



あんかけスパゲティ
味のベースはトマト味。ミートソースを名古屋人好みの味に仕立てようとしてできたと言われています



味噌煮込みうどん
味噌仕立ての汁で煮込んだうどん、鶏肉に名古屋コーチンなど使った物があります。



味噌カツ
八丁味噌などの豆味噌をベースに、店によって鰹出汁、砂糖など様々なものを加えた独自のタレを豚カツにかけたものです。



ひつまぶし
食べ方に一杯目はそのまま食べて、二杯目は薬味とわさび、三杯目はお茶漬けで食すというのが一般的です



ういろう
米粉などの穀粉に砂糖と湯水を練り合わせ、型に注いで蒸籠で蒸して作るお菓子

してください。 岩間 紀久裕 (岩間造園株)

「地域創生と造園緑化産業界」テーマに 造園・環境緑化産業団体若手交流研修会を開催

造園・環境緑化産業振興会は12月6日、東京都千代田区麹町の弘済会館で「造園・環境緑化産業団体若手交流研修会」を開催した。

交流研修会は、「地域創生と造園緑化産業界とのかかわり」をテーマに、第一部では、地域づくり政策全般について研究されている金岡省吾富山大学地域連携推進機構教授にご講演をいただいた。

第二部では、「地域創生と造園緑化産業界とのかかわり」をテーマに、金岡省吾富山大学教授をコーディネーターとす

るパネルディスカッションを行った。

パネリストには、井本大祐氏（（一社）日本植木協会）、今井浩司氏（（一社）日本造園組合連合会）、村田周一氏（（一



金岡省吾教授



会場の様子

全国造園デザインコンクール応募締切 2018/1/17

第44回「全国造園デザインコンクール」の締切は、平成30年1月17日(木)（当日消印有効）です。

コンクールは、A 住宅庭園、B 街区公園、C 商業施設、D 実習作品の4つ

の課題で、「高校生の部」と、これまでの大学生の部と一般の部は「大学・一般の部」としました。応募要項はホームページに掲載しています。多数のご応募をお待ちしています。

事務局の動き

- 【11月】
- 1(木)・建設業取引適正化推進月周 ～11/30
 - 6(月)・北海道総支部・支部交流会
 - 7(火)・北海道総支部と開発局等との意見交換会・広報活動部会
 - 10(金)・植栽基盤診断士認定試験（実技試験）～11/11・北陸総支部と北陸地方整備局との意見交換会
 - 14(火)・担い手3法と人材育成確保、社会保険未加入対策説明会
 - 15(水)・植栽基盤診断士認定試験（実技試験）～11/15・中国総支部と中国地方整備局との意見交換会
 - 16(木)・建専連と建政部長等との意見交換会・建専連全国大会
 - 20(月)・近畿総支部と近畿地方整備局との意見交換会・近畿総支部・支部交流会
 - 24(金)・四国総支部、支部交流会・技能五輪全国大会 ～11/27
 - 25(土)・技術委員会（技能五輪部会）
 - 28(火)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
 - 29(水)・中部総支部・支部交流会
- 【12月】
- 1(金)・北陸総支部・支部交流会
 - 4(月)・植栽基盤診断士認定委員会
 - 5(火)・広報活動部会
 - 6(水)・造園・環境緑化産業団体若手交流研修会
 - 7(木)・建専連理事会・運営会議
 - 8(金)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
 - 9(土)・高校安全テキスト編集会議
 - 11(月)・担い手3法と人材育成確保、社会保険未加入対策説明会
 - 12(火)・技術委員会 ～12/13

- ・東北総支部・支部交流会 ～12/13
- 14(木)・造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修会・財政・運営部会
- 20(水)・街路樹剪定士認定委員会
- 22(金)・総支部長等会議

- 【1月】
- 5(金)・新年造園人の集い
 - 18(木)・担い手育成・確保推進部会
 - 22(月)・沖縄総支部・支部交流会
 - 23(火)・沖縄総合事務局訪問
 - 24(水)・造園フェスティバル推進部会
 - 25(木)・登録造園基幹技能者講習 ～1/26
 - 27(土)・第44回全国造園デザインコンクール予備審査会・高知県支部 40周年記念事業
 - 28(日)・第44回全国造園デザインコンクール審査会

委員会等の活動

- 経営環境改善・社会保険未加入対策部会 合同 神奈川県支部において担い手3法等の説明会を実施した。（11/14）
- 安全部会 造園関係労務安全テキストの編集、造園用胴ベルト型安全帯のオプション 開発及びロープ高所作業特別教育の全国展開に向けての検討を行った。（11/17）
- 技術委員会（技能五輪部会） 若年者ものづくり競技大会（愛知）の報告及び技能五輪国際大会（アブダビ）の結果について、報告を行った。（11/25）
- 植栽基盤診断士 認定委員会（試験部会） 植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）を開催し、植栽基盤診断士認定試験（実技試験）の採点結果及び平成29年度の開催について審議した。（11/28）

編集後記 天皇陛下のご譲位について思う。天皇の三大行幸ゆたかな海づくり・国体・植樹祭、自然と共生するDNAは、このことに象徴的に表されている。自然を屈服するのではなく、自然ともある人間、自然の摂理に従って生きること。我々の生業の方向性は、ここに示されている。



私のふるさと「石ころタウン」糸魚川

新潟県支部
渡部陽子
グリーン産業株

私が生まれ育ったふるさは、新潟県糸魚川市です。糸魚川市は新潟県の最西端、日本海側に位置し山々と海に囲まれた自然豊かな場所です。

昨年12月22日、「糸魚川」の名が全国に知れ渡る大きな火災がありました。「糸魚川大火」です。

幼い頃から慣れ親しんだ風景は変わり果て、大きなショックを受けました。

ふるさとのために、私にも何かできることはないだろうか？そんな思いが「ふるさと糸魚川」を見つめ直すきっかけとなりました。

糸魚川は自然豊かということだけでなくオンリーワンの素晴らしい魅力があるのです。

それは「石ころ」です。世界的にも珍しいヒスイの産地で有名ですが、さらに今年「国の石」に認定され、ますます注目が集まっています。

実はこのヒスイ、糸魚川の海岸で誰でも拾うことができます。

帰省するときは毎回、家族で海岸へ出かけ宝探しに没頭します。

海岸では、ヒスイだけでなく様々な種類の石



石の標本づくり



糸魚川市青海ラベンダービーチ

を見つけることができます。そこに宝探しのようなワクワクがあり子供から大人まで夢中になります。

拾った石は、市内にあるフォッサマグナミュージアム内に丁寧な解説付で鑑定（無料）してもらえます。

石も植物と同じで、ひとつひとつ個性があり表情豊かです。そんな「石ころ」の魅力いっぱい糸魚川をたくさんの人に知っていただきたいです。大火からもうすぐ一年、多くの方に来て頂くことが「糸魚川の復興」につながると信じています。

